



ものづくりを楽しむ! ワクワクがとまらない



阿部朋子

日立化成(株)開発統括本部機能材料開発センター
電気機能材料開発部
[317-8555] 日立市東町4-13-1
部長.
専門は材料工学.
tomo-abe@hitachi-chem.co.jp

www.hitachi-chem.co.jp

ものづくりを楽しんで早20年、ワクワクがとまらない

ものづくりに携わり早20年が経ちます。入社してから現在に至るまで開発部に所属し、担当製品もディスプレイから半導体関連材料と多岐にわたりつつも、同じ場所の工場に20年勤務しております。一環して工場勤務と言っても、この20年でいろいろな経験を積み挑戦をしてきました。今回「仕事と私事」ということですが、私自身がこの約20年の経験で思ったこと、感じたことについてお伝えできればと思います。

仕事では、入社当初の配属面接の際、確か研究所勤務を希望していたと記憶しています。理由は当時女性の開発部員が少なく私に務まるのかとの思いからでしたが、自分の希望とは裏腹に工場の開発部に配属されました。しかし工場配属後、現場実習で“ものづくり”の現場をじかに見ることができ、規模感に驚き、またわれわれの生活になくはならないものを生み出していることを実感し、感動したことを今でも記憶しています。学生時代には大きくても1Lフラスコ程度で実験していたものがTonオーダーでの大きな釜でものを作ったり、材料が500 mLの試薬から1斗缶やドラムサイズのものを使用したり、また大きな材料がロボットで運ばれていくのを横目で見たり等、とにかく規模感の違いに圧倒され、早く自分でもこの規模感で生産する製品を立ち上げたいと思い仕事に取り組んできました。

また私自身が仕事について感じている「楽しい」と思うことは、B to Bの製品開発を行っていることです。B to Bの製品開発しか経験がないので解釈に偏りがあるかもしれませんが、私自身の思いとしては消費者の手に届く一つの製品を作り上げるために、弊社とお客様であるメーカーがともに協力し、一つのものを作り上げていく工程が難しくもあり楽しいと感じています。両者がともに歩み寄り、同じ目標に向かって作り上げていく。そこにはいろいろな駆け引きがありますが、その駆け引きこそが毎回新たな挑戦であり、辛いことも多いですがその反面ワクワクも多く楽しみの一つです。

仕事の話ばかりしてきましたが、ここからは私事について少々お話をさせていただきたいと思います。“仕事と私事”ここから連想するにワークライフバランス。

このバランスについては、日々シーソーのように状況に応じて仕事に集中、私事に集中として送っています。またバランスが片方に倒れすぎ、その状態が長く続くことでストレスを感じる際の私なりの解決策は、1日に短時間でもよいので私事と自身で思えることを仕事の合間に盛り込む。たとえば、出張のときも必ず一つは新しい経験(たとえば、初めて見るおもしろい景色を目に焼き付ける、ご当地グルメを堪能する等)をし、私事の一つの経験としてカウントするなどしています。私事では、おもに趣味の旅行や音楽鑑賞に時間を費やしています。旅行については年に3回程度両親との旅行を楽しんでいます。また思い立ったら即実行にて、少しでも空き時間ができると一人でふらっと出かけ、短時間でもスイッチを切り替えることを実行しています。私自身、ほかの執筆者の方のような子育てと仕事の両立の経験はありません。また親の介護についても現状経験がない状況です。同僚や部下で子育てをしている方、親の介護をしている方はおります。その方々の話を聞くと、いかに効率良く仕事をこなすか、いかに時間を捻出するかなど苦慮しているとのこと(これは実質「働き方改革」での重要なマインドですが)。その中で私自身がどのようにサポートしていけるのか、仕事を手伝えるのは簡単ですが、それではかえってその方の仕事を奪うことになってしまう。また周りに対して後ろめたさを感じさせてしまう。組織でどのように活躍してもらうのが最適か、本人の希望を確認するとともに日々コミュニケーションをとり、状況に応じた対応が必要と感じています。

改めてこの20年間の“仕事と私事”について振り返ってみました。新しい製品分野を担当することへの挑戦、またキャリアアップしていくことへの挑戦、その中で私事の変化もあり、いろいろな新しい経験に挑戦できる機会を得ることができたと思っています。やはり新しいことに挑戦できる機会があれば、その挑戦に敗れ辛く落ち込むこともありましたが、その反面ワクワクを感じる機会もたくさんありました。ぜひたくさんのお話をし、ワクワクをたくさん積んでいってほしいと思います。それには挑戦が重要なあと。